

自身の経験と知識を融合させ 経営者目線で法人保険をご提案



有限会社 BM インシュアランス

[本社] 〒106-0047
 東京都港区南麻布 1-14-6 IK 麻布 204
 TEL 03-6857-0970 / FAX 020-4663-9531
 [支社] 〒146-0085
 東京都大田区久が原 5-17-7 301
 TEL 03-6410-4838 / FAX 03-6315-0924
 URL <http://bm-ins.jp>

Company data

代表取締役 高原 利行

学業修了後、父の経営する会社から転職した不動産会社で税金問題に直面。それをきっかけに法人保険に興味を持ち、大手生命保険会社へ転職。実績を積んだ後、(有) BM インシュアランスを立ち上げた。

にすることができて、浮いた分のお金を会社に残すことが可能です。例えば、社員の退職金に充てたり、会社の福利厚生を充実させたりと、様々な使い道があります。もちろん保険ですので、社員のためのガン保険といった保険もあります。仁科 なるほど。しかし、節約したお金の税金はかからないのですか？

高原 損金とって、税額計算の対象外になるお金があるんです。費用として認められるものとそうでないものがありますので、必ずしも損金=費用ではないですけれど。だからこそ、プロのアドバイスが必要になってくると私は思います。仁科 会社を運営する上で、法人保険は欠かせないのですね。また、高原社長は経営者としての経験もありますし、同じ経営者としてはより信頼できると思います。では、これから先を見据えて抱負はありますか？

高原 新しい保険はどんどん発売されていきますし、税制が変更になったり、損金扱いできる費用の判断の難しさから、専門家のアドバイスなしに保険に加入するのはあまりお勧めできません。私たち専門家は、もっと日本の企業をサポートしなければならない義務があると思っています。経営者同士、一緒に悩みを分かち合いながら、各企業に1番良い法人保険をご提案していきたいと思っています。

仁科 御社は法人向けの保険代理店だと伺いました。まずは、高原社長が独立されるまでの経緯をお聞かせください。

高原 保険業界に入る前は不動産会社にいて、当時は景気が良かったこともあり、勤めていた会社も順調に利益を上げていました。しかし、利益が大きくなれば、その分税金が増えるわけで——経営陣が頭を抱える中、保険会社の人が「経費で入れる保険を上手く使えばいいのですよ」とアドバイスしてくれたんです。そこから、法人保険に興味を持ち、大手生命保険会社へ転職しました。そちらで10年ほど勤めたのち、私の経験や知識をもっと多くの企業のために役立てたいと思うようになり起業いたしました。

仁科 では、業務内容について詳しく伺っていききたいと思います。

高原 複数の保険会社の正規代理店として、お客様に対してあらゆる角度から最適な商品をご提案させて頂いております。対応するスタッフの中には、生命保険と金融サービスの専門家集団であるMDRTのメンバーがおり、FPの知識も持ち合わせておりますので、安心して相談して頂ければと思います。



仁科 そもそも、なぜ企業は法人保険に入るのが良いのですか？

高原 法人保険を活用することで、経費



Guest Comment 仁科 仁美 (女優)

保険と聞くと、「難しそう」というイメージが先行しがちですが、会社にとっていかに法人保険が必要かということ、分かりやすくお話しして頂きました。私も、保険について見直してみなくてはと思わせてくれる対談でした。これからは経営者の方々のために頑張ってください。

